

1. 科目名 (単位数)	社会科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	EDEL3316
2. 授業担当教員	池田 芳和		
4. 授業形態	講義、討議、レポート、模擬授業	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	小学校社会科の指導法に焦点化して、実践的な指導力を身に付ける。そのために、まず小学校社会科及び各学年 (3 年生以上) の目標と内容について、確実に理解する。次に、各学年の年間計画と各単元の指導計画の作成について具体的に検討する。さらに、これらの指導計画の学習をもとにして 1 単位時間の指導案づくりと模擬授業を行う。そして、これらの学習を通して、児童が社会的事象に興味・関心をもって、主体的に社会科授業に取り組み、確かな学力を身に付ける指導法について学修する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育課程の基本的事項について理解し、その知識を活用できる。 2. 学習指導要領の性格、教科書について理解し、教科指導法に向けて適宜参照できる。 3. 学習指導要領の改訂の歴史について理解し、現代日本の教育課程を位置づけられる。 4. 現行の学習指導要領の特徴を理解し、発展的に考察できる。 5. 教育評価の基本的事項について理解し、各評価の意義を考察できる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	単元計画と指導案づくり、指導案に基づく模擬授業の実施の結果について、考えたことを述べなさい。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領』東洋館出版社。 文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版。</p> <p>【参考書】 小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 比較対照表。 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社。</p>		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 問題解決的学習について理解し、説明できるか。 2 社会科の学習指導案の形式・内容について理解し、学習指導案を作成できるか。 3 問題解決的学習を導入し、指導法を工夫して模擬授業を行うことができるか。 <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への積極的参加 総合点の 30% 2 課題レポート・作成した資料・討議 総合点の 70% 		
12. 受講生への メッセージ	社会事象を探究することの楽しみを味わいながら実力をつけるためには体を動かすことから始めることが重要です。課題を設定しつつ、授業の構想をたてて具体的な指導を可能とする学習にしたい。積極的な取組を期待したい。		
13. オフィスアワー	授業日の授業のない時間、随時 (一時間目に伝達)		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 社会科とは何か～社会科の歴史と領域 春期の社会で学んだことをイメージマップに整理し、社会科指導法の学習に生かせるようにする。	事前学習	これまで経験した社会科の授業を想起し、教科書「社会編」の目標等を読んでおく。
		事後学習	本時の学習を振り返り、社会科教育の在り方を整理する。
第 2 回	イメージ・マップに出た内容を、グループで話し合い、社会のキポイントをつかみ、指導方法にどのようにつなげるか考える	事前学習	社会科教育の重要概念を調べる。
		事後学習	問題解決的学習を中心とする社会科指導の在り方を整理する。
第 3 回	社会科指導法を考えるにあたり、社会科誕生時の考えを置き、社会に参画できる人間を育成に重きが置かれたことを学びあう。	事前学習	学習指導要領社会科編 (試案) を読む。
		事後学習	社会科の課題を整理しまとめる。
第 4 回	子供たちが学びたいような社会科の指導とは、どうすることか。4 学年の内容を例に課題解決的な学習にする方法を考える。	事前学習	社会科学習の指導計画の在り方を調べておく。
		事後学習	問題設定場面をどのように作るか整理する。
第 5 回	3 年生の「地域の安全を守る」単元のイラストをもとに、課題解決的な学習を行うための問題把握について考える。	事前学習	指導案作成のため、授業記録を読んでくる。
		事後学習	子どもの活動を保障する展開の在り方をまとめる。
第 6 回	3 年生の「地域の安全を守る」単元を、グループで協働して、課題解決的な学習を行うための指導計画を作り発表しあう。	事前学習	学習指導要領の内容を読んでおく。
		事後学習	不足している資料を分担して収集する。
第 7 回	指導計画の中で身に付けるべき知識・技能・態度について考え、事実に基づく知識と概念的知識の割り振りを構成できるようにする。	事前学習	教材構造について、教科書の指導書を調べる。
		事後学習	中心概念についてまとめる。
第 8 回	教科書の教材構造をもとに、中心概念とそれを支える事実に基づく知識を区別して指導計画をつくり、社会科の課題解決学習の理解し、模擬授業の準備をする。	事前学習	年間単元一覧表から、模擬授業の単元を選んでおく。
		事後学習	教材分析の方法を整理する。
第 9 回	模擬授業 (単元指導計画と本時案) 社会科の小単元計画「わたしたちの国土」「武士による政治のはじまり」について学び、児童の発達段階に即し、情報機器の活用を想定した学習指導計画を立てる。	事前学習	小単元計画と本時の展開を構想しておく。
		事後学習	基本的な形式を整えた学習指導案を作成する。

第10回	模擬授業（評価の具体的な手立て） 評価規準を確定し、学習目標を明確にするとともに、学習指導案に評価の観点、評価内容、評価の手立てを明示する。	事前学習	目標及び評価規準について調べてくる。
		事後学習	目標、指導上の配慮事項における評価の場面と手立て、評価規準の整合性を確かめ修正しておく。
第11回	模擬授業（社会科指導と教材の役割） 教材分析を行い、子どもに何を学ばせるのか明らかにし、教材の適切な選択を行う。	事前学習	必要な資料の準備と分析を行っておく。
		事後学習	教材の意義について、話し合ったことをまとめておく。
第12回	模擬授業（指導と発問） 指導上の留意点を理解し、本時の展開を構想し、主発問や補助発問を考え模擬授業の指導案を作成する。	事前学習	発問の意義について調べる。
		事後学習	模擬授業の具体的な発問を整理し、まとめておく。
第13回	模擬授業（地理・産業分野の授業展開） 「わたしたちの国土」の授業実践 情報機器や教材の活用を含めた指導案をもとに、模擬授業を行い、授業後は相互評価を行う。	事前学習	地理・産業分野の授業展開を考えてくる。
		事後学習	地理・産業分野の模擬授業を行い、相互評価したことを整理する。
第14回	模擬授業（歴史・公民分野の授業展開） 「武士による政治のはじまり」の授業実践 情報機器の活用を含めた指導案をもとに、模擬授業を行い、授業後は相互評価を行う。	事前学習	歴史分野の授業展開を考えてくる。
		事後学習	歴史・公民分野の模擬授業を行い、相互評価したことを整理する。
第15回	社会科指導法のまとめを行う。 新学習指導要領が目指す社会科教育のあり方を考える。	事前学習	模擬授業から得られたことを整理してくる。
		事後学習	社会科指導法で学んだことを今後どう生かすか、レポートを書く。